都市再生整備計画 事後評価シート

綾瀬中央地区

平成25年3月

神奈川県綾瀬市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県			綾瀬市		地区名		綾瀬中央地区			央地区		面積	171ha	
交付期間	平成20年度~24年度			平成24年度		交付対象事業費			1,656百万円		費率	0.407			
	当初計画に														
1)事業の実施状況	位置づけ、	基幹事業													
	実施した事業	提案事業													
	\/ \ \n=1 \ \ \.	1						<u>削除/追加の理由</u> 現地調査(照度測定)結果による設置箇所の変更(事業量及び事業費				主要弗の亦	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から	基幹事業						現地調査(照及例定)和米による設置固別の変更(事業重及の事業員)				尹未良の炎	影響なし		
	削除した事業	提案事業						_					_		
	新たに追加した事業	基幹事業						区画整理事業区域内における道路照明灯の設置について、新設道路開始に伴い、夜間の交通上の危険箇所や横断歩道設置交差点につい 行者及び通行車両の安全強化を図るため、新たに追加。							
		提案事業						都市再生整備事業の最終年度における事後評価を行うため、新たに追加。					影響なし		
	交付期間	当 初				間の変更による	ス重業								
	の変更	変更			指標、数値目標への影				-						
			従前値 目標			値	数値目標			1年1	F以内の効果系		現要因	フォローアップ	
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	pc1331	 基準年度		目標年度		評価値	達成度		見込み		·所見)	予定時期
	指標1	道路利便 性満足度	%	62	H19	65	H24		66	0	ありなし		道路新設や補修工事、交通安全施設(道路照明灯、道路反射 鏡)の設置が行われ、走行環境や歩行環境、騒音、防犯性、安全 性の向上が図られた。 これらにより、利便性・安全性の高い道路環境が創出され、目標 達成に寄与した。		-
	指標2	区域内居 住者数	Д	6,000	H19	7,500	H24		8,019	0	あり		区画整理事業により、宅地増進 寄与する、交通安全施設(道路)	生が図られ、また生活環境向上に 程明灯、道路反射鏡等)の設置や 園施設整備による快適性の向上	_
	指標3	中心核づくり満足度		68	H19	70	H24		78	O -	あり		これらにより、良好な住環境が (仮称)4号3緑地の公園整備や の場や、ふれあいの場が形成さ	創出され、目標達成に寄与した。 、長峰の森の緑地保全等、憩い れ都市緑地としての役割を担って ガーデニング事業への支援を実 が図られた。	_
		71172		從前 個	古	目標	店	数			なし	以内の	これらにより、市民の交流拠点としての賑わいが創出され、E 達成に寄与した。 効果発現要因		フォローアップ
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	1/0. (1)	基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	□ 信 達成度※1		見込み		:玩安凶 ì所見)	予定時期
	その他の数値指標1			_	-										
		学の宝体に	-U 会tn字	・ 本担字のボン	りつ ドロニサナス 巫羊 心 大美 I、 緑ル		世准への音響が向 bl た								
4)定性的な効果 発現状況	・ガーデニング事業の実施により、参加者、来場者の花やみどりに対する愛着心を養い、緑化推進への意識が向上した。 ・各種イベントに併せて綾瀬よさこい乱舞を実施したことが、中心核の市民交流拠点としての賑わい創出に寄与した。														
75 70 7 17 7									実施状況					今後の対応方針等	
5)実施過程の評価							都市再生	整備計画に記載し、実施できた				7 (8.577)107731 (1			
	モニタリング							整備計画に記載はなかったが、実施した 整備計画に記載したが、実施できなかった				_			
	住民参加プロセス		都市				都市再生	再生整備計画に記載し、実施できた 再生整備計画に記載はなかったが、実施した				今後も交通安全・防災推進市民のつどいを継続し、「安心で安全な明るく住みよいまち綾瀬」の実現を目 指す。			
								整備計画に記載したが、実施できなかった 整備計画に記載し、実施できた							
			都				都市再生	再生整備計画に記載はなかったが、実施した				- 今後も各種イベントに併せて、綾瀬よさこい乱舞を実施することにより、市民の交流拠点としての賑わい - を創出し、まちの魅力をアピールする。			
								再生整備計画に記載したが、実施できなかった 再生整備計画に記載し、実施できた ●							
			都				都市再生	男生整備計画に記載はなかったが、実施した				今後もガーデニングフェアの内容や方法を変えながら、住民が主体的に実施できるまちづくり活動となる よう支援を継続する。			
			都市再生 都市再生					注整備計画に記載したが、実施できなかった 注整備計画に記載し、実施できた 注整備計画に記載はなかったが、実施した				0-7~1&C	±190 / ₩0		
							整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も市民会議等を継続し、中心市街地における交通利便性の向上を図る。 				
							整備計画に記載し、実施できた ●								
	持続的なまちづくり 体制の構築		都市再生				整備計画に記載はなかったが、実施した				住民の主体的なコミュニティ活動を継続的に支援していく。				
									整備計画に記載したが、実施できなかった 整備計画に記載し、実施できなかった						
								を備計画に記載し		51 +-					
								再生整備計画に記載はなかったが、実施した 再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
							当りいき土地	医哺引 凹に配取し	には、大心できる	13.71					

様式2-2 地区の概要

地域生活基盤施設事業

まちの課題の変化

(調整池整備(5号調整池)



<交通需要に応じた安全で利便性の高い道路網の整備>

・新設道路の整備や電線類地中化、道路照明灯設置、道路反射鏡設置により、安全で利便性の高い道路網が整備された。しかし、一部安全面において強化が必要な道路整備が課題として残っている。

く新たな地域コミュニティが一体となった防犯体制の強化>

・新市街地における防犯灯の設置により、旧市街地と連続性をもった防犯環境の向上が図られた。

< 旧市街地と新市街地を連絡する道路整備促進による再活性化>

民活動支援、ガーデニング)

・コミュニティバス運行や一部電線類地中化の進捗による歩行環境の向上により、旧市街地と新市街地間での移動円滑化が図られ、旧市街地における再活性化に寄与した。しかし、新旧市街地を連絡する道路網の強化が課題として残っている。

■基幹事業

(調整池整備)

<mark>地域生活基盤施設事業</mark>

道路事業(市道12号線舗装補修)

<緊急時の交通路の確保や浸水被害対策等の安全確保>

・新設道路の整備による道路網の強化や調整地の設置による浸水対策の強化が図られ、地区内の安全性が向上した。しかし、一部整備が必要な区間が課題として残っている。

〇関連事業

土地区画整理事業

(深谷中央地区)

<魅力ある観光イベントの充実>

・地区内での各種イベント事業の実施により、にぎわいの創出が図られ、魅力ある中心核としてのまちづくりに寄与した。

【事業によって発生した新たな課題】

・良好な住環境整備により、人口の大幅な増加がみられたため、地域住民に対するさらなる安全・安心なまちづくりに寄与する取り組みとして、防犯面の強化・拡充等の対策が必要となる。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む) ・今回の事業により設置された新設道路や、道路反射鏡や道路照明灯の適正な維持管理を行い、更に安全で利便性の高い道路網の強化を目指す。

・住民主体による防犯体制の強化を図るため、交通安全指導の促進や自主防犯パトロール等の組織の組成を行う等、防犯意識の向上を図り住民主体の防犯体制強化を目指す。

・旧市街地再活性化を促進するため、歩行環境の適正な維持管理及び歩道のバリアフリー化やコミュニティバスの運行等を進め、誰もが利用しやすい交通環境を目指す。

・強化された浸水被害の防止機能を維持していくため、調整池の適正な維持管理を行う。

・地域住民主体で行っている活動への支援や市民交流の場等の拡充を行い、コミュニティ強化を図り、更なるにぎわいの創出を目指す。

一部安全面において強化が必要な道路に対し、道路反射鏡や道路照明灯等の設置等を行うことで、安全で利便性の高い道路網の完成を目指す。

・新旧市街地を結ぶ都市計画道路の早期完成を目指し、新旧市街地間の道路網を強化し、更なる移動円滑化の向上を図る。

・住宅地やその他の建物が密集している地区における狭隘道路の整備や道路の新設等を行い、避難経路や緊急車両の経路を確保し、災害時や緊急時に市民に対する安全性の向上を図る。

・自主的な防犯パトロールや防犯カメラ設置等を促進し、犯罪抑止や防犯意識向上効果を高め、住環境の向上を図る。